

毎週日曜発行
2024 5/12

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



地球のためにできること

金属加工の技術を高める



全国の中小企業が「最強のこま」を目指して競う大会「全日本製造業コマ大戦 G1最強コマ決定戦」が2月、横浜市内で開催されました。2012年から出場を続け今年ついに優勝した

きょうのテーマ

8 働きがいも経済成長も



あきらめないで常に挑戦

手に近づき、はじき飛ばすことができます。回り終わった後、直径2センチ以下、全長6センチ以下の形に戻らなければ、負けになってしまうルールです。

岩沼精工のチームは、

のが、宮城県岩沼市で金属加工に取り組む会社「岩沼精工」のチーム。同社の挑戦は国連の持続可能な開発目標(SDGs)の8番目「働きがいも経済成長も」に通じます。

岩沼精工が作ったこまは、金属でできたはんこのような大きさの筒。回すと三つに割れ、大きな3枚の羽根に形を変えます。2分間回り続けると、カシャッという音を立てて元の筒にぴったりと戻ります。すごい!



大会は直径25センチの土俵で、こま同士が相撲のように対戦します。こまが変形して広がれば、相

みんな思い出



加工の作業に当たる佐藤さん。機械を微調整(びちようせい)するには知識と経験(けいけん)がいります

立場は同じ。機械の扱い方や材料の知識を学び、ものづくりのプロへの道歩んでいます。



自動車の部品を作れる精密加工技術を生かし、強いこまを作ることができたのです。64人いる社員は工業系だけでなく、普通科の高校や大学などを卒業した人もいます。入社したら

大会用のこまを設計したのは柴田学さん(35)。材料を加工し本番で回したのは佐藤克也さん(38)。普段はお客の要望に応えるため、常に技術を磨いています。中には、難しい注文



3枚の羽根を広げたように回るこま

もありです。それでも「無理だと最初からあきらめない」と社長の千葉厚治さん(48)は言います。「できない、ではなく、どうすればできるかを考えるのがものづくりの基本。勉強や遊びもそうです」。こんな社長の思いに込め、社員もやりがいを感じているんだね。

会社は東日本大震災の津波で浸水し、大きな被害に遭いながらも、着実に売り上げを伸ばしているそう。最強のこま作りは「全国の支援で、ここまで元氣になりました」と伝えるためでもあるだそうです。



こまを回す動画はこちらのQRコードから

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇15日(水) コンビニ登場50年
1974年のこの日、東京都江東区にセブン-イレブン1号店がオープンしました。当時の営業時間は午前7時から午後11時。個人商店などが営業していない時間帯に食品や日用品が買えると注目を集めました。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー